



3月30日、31日 さくら見に来なっせ!!2019
満開の桜の中で地域とふれあい

九州ティ・エス㈱さくらまつりが会社敷地内で開催されました。4年目を迎える今年は、自社技術を用いた製品の紹介や菊池女子高校による「きくち女子舞」「バトン」の披露、キッチンカーでの販売などがあり、多くの人でにぎわいました。



1_従業員の家族や地域の皆さんに会社を紹介 2_キャラクターすくいやボールプールに夢中の子どもたち



4月12日 菊池高校演劇部
熱のこもった演技で観客を魅了

菊池高校演劇部が、新入生勧誘のため劇を披露しました。2月ごろから本市七城町出身で劇団ゼーロンの会代表の上村清彦さんが指導。周辺住民にも観劇を呼びかけ、約30人の前で熱演。今後の演劇部のさらなる飛躍が期待されます。



上村さん(2列目中央)と演劇部員、関係者の皆さん。部員は「今後もういっしょなところで劇を披露したい」と語りました



4月14日 第19回チェント・ミリアかみつえ
世界の名車が菊池に大集合

阿蘇や久住の山々を駆け抜けるツーリングイベント「チェント・ミリアかみつえ」が行われました。チェックポイントの市民広場には往年の名車が集結。飲食物や記念品を振る舞われたドライバーは、ひとときの休憩を楽しんでいました。



ずらりと並ぶ国内外の名車。あいにくの雨模様でしたが、カメラ片手に記念撮影する人も多く、にぎわいを見せました



3月29日 第12回「いじめ防止標語コンテスト」
いじめのない世界のために

坂本翔和さん(泗水中2年・永)が「いじめ防止標語コンテスト」で全国賞を受賞しました。笑顔あふれる学校作りの推進や貢献を目的に開催されており今年で12回目。坂本さんは「いじめをなくすために貢献できてうれしい」と話しました。



賞状を持つ坂本さん(中央)と関係者の皆さん



4月4日 叙位・叙勲
地方自治の振興発展に寄与

故有田義行さん(永)が正六位を受章し、報告のため遺族の皆さんが市役所を訪れました。有田さんは昭和57年から平成10年まで4期16年にわたり旧泗水町の町長を務め、町政の発展に貢献しました。



左から有田義隆さん(長男)、イツ子さん(妻)、恵美子さん(長男妻)



4月14日 キクロス寄席
話して笑って、伝統話芸を楽しんで

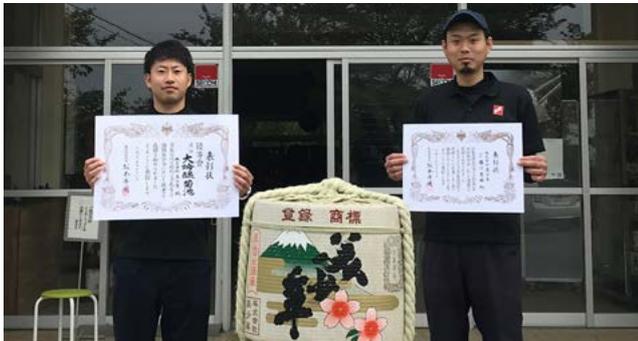
日本の伝統話芸の普及と震災後の熊本の応援を目的に、中央公民館で「落語講談伝統話芸を聴く会」を開催。講師宝井琴調先生の名調子と、落語家の桂藤兵衛師匠による人情あふれる話芸で、会場は笑いに包まれました。



宝井先生(中央⑥)や桂師匠(中央⑤)と集合写真を撮る参加者の皆さん

**★ 4月16日 熊本国税局平成31年酒類鑑評会
株美少年が優等賞を受賞!**

酒類業の健全な発達に資することを目的に熊本国税局が毎年開催している鑑評会で、株美少年が清酒部門の優等賞を受賞しました。千堂敬一郎社長は「今回の受賞を励みにより一層、おいしいお酒造りに励みます」と語りました。



左から、製造の水上完三郎さん(姪井)、杜氏の藤江勇輔さん(片角)

**🗺️ 4月14日 第3回菊池一族と延寿鍛冶展
刀に触れて、歴史に触れる**

菊池一族のもとで活躍した「延寿鍛冶」の作品の展示会が、3月23日から5月12日まで菊池神社で開催されました。4月14日には刀剣勉強会を実施。専門家による刀の解説や銘打ちなど、貴重な体験に多くの人が列を作りました。



本物の刀を持ち、真剣な表情の来場者

**👏 4月20日 「西部の森きくち」第10回植樹祭
企業と地域と行政の森づくり**

「西部の森きくち」第10回植樹祭が行われ、九州管内の西部電気工業(株)の社員や家族など約290人が参加しました。旭志の市有林にヤマザクラなど1,250本の植樹を実施。植樹後は、シイタケの植菌作業や木工教室を体験しました。



平成22年4月から森づくり協定を結び活動に取り組んでいます。植樹祭には子どもから大人まで大勢の人が参加しました

**👏 4月18日 菊之池保育園
わた菓子で地域交流!**

地域交流を深めようと、堀江清次郎さんがわた菓子を園児に振る舞いました。魅力的な地域や保育園になれば、その地域に人々が根付いてくれるのではないかと堀江さんが企画。園児たちはおいしそうにわた菓子を食べていました。



園児からは「楽しかった」「おいしかった」といった元気な声が飛び交いました

**🗺️ 4月24日 菊池教育会
健やかな成長を願って**

「鯉の滝のぼり」を祝う会が菊池さくら保育園で開催されました。菊池教育会(木原昭三会長)が企画し、今年で7回目。雨天のため室内での開催でしたが、園児の元気な声が部屋中に響き渡りました。



参加者全員で子どもの健やかな成長を願いました

**★ 4月21日 中央図書館
来場者数20万人突破!**

中央図書館の来館者数が20万人を突破し、江頭実市長が認定証と記念品を贈呈しました。20万人目の来館者は奄美大島から本市へ移住した福島寛行さん(大琳寺)親子。福島さんは「この偶然に縁を感じます」と笑顔を見せました。



記念品を持つ福島さんとお子さんの鳳ちゃん、羽月ちゃん